

case. 山口市

09 食堂、花屋、事務所など



住宅



複合施設



愛された場所の名残を残しながら
次の時代へ繋げる

リノベーション内容

Before



After



食堂の建物は増築部分があったため、撤去して元の状態に戻した。道路に面している場所はガラス貼りにした。

Before



After

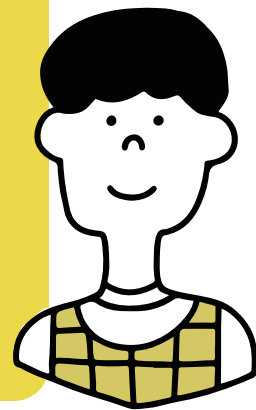


室内は土間にして靴で上げられるようにした。もともとの土壁と梁を見えるようにし、土壁は崩れないように処理した。

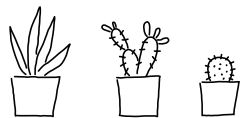
リノベーション ストーリー

renovation story

会社を移転する物件・土地を探す中で、当初は新築とリノベーションの両方で検討していましたが、倉庫として借りていた物件の奥に複数の物件があることが分かり、これらの物件を利活用していくことを決めました。コミュニティが自然と生まれるような建物を目指して計画を行い、着工前には改修前の状態を見せようイベントも行いました。敷地内の土を使って土壁を補修したり、柱の落書きを残したり、梁を見えるようにしたり、もともとの建物の歴史を残しつつ新しさも取り入れて改修を行いました。この物件は一家族が代々引き継いできたもので、一つの敷地の中にお店が入っていたり、学生や公務員が住んでいた「つながりが生まれる場」として存在していました。こうして利活用することで色々な方に見せよう機会になり、次の時代にバトンをつなげることができうれしく思います。



利活用までの スケジュール



schedule

● 2018	利活用する物件を探し始める
● 2019.11	物件が決まり、構想に着手
● 2020.11	着工前のイベントを開催する
● 2022.1	事務所部分が完成
● 2022.3	食堂部分が完成
● 2022.8	花屋部分が完成

こだわりポイント



受け継がれたものを活かし、つなげる食堂と花屋

食堂となっている建物の立派な梁は、そのまま活かしました。天井を取り払ったことで、普通の家では見ることのできない、梁や継ぎ手を見ることができます。また、大きい窓から庭の景色を眺めることができました。花屋として使用している建物は、店内にある作業台や天井の板に古材を使い、元の建物に馴染むようにしました。